

訪日客 流行の火付け役？

訪日客（インバウンド）に人気があると交流サイト（SNS）などで取り上げられたことで、日本人も評価したり注目したりするケースが目立ってきた。今後増加が見込まれるインバウンドをきっかけとする「リ・バウンド」現象が全国に広がろうとしている。

「カフェの本場から来た外国人が評価するなら、きっとおいしいと思って」。

9月下旬、都内在住の会社員、木住野舞さん（26）は東京・渋谷駅に近いコーヒースタンド「アバウトライフ・フコヒーブリュワーズ」を初めて訪れた。「いつも欧米人でにぎわっているのを見て気になっていた」と



京都市の「サムライ剣舞シアター」で剣舞を体験する向井君兄弟

が拡散した。6月には米大手口コミサイトの「外国人に人気の東京スポットベスト30」に選ばれた。

訪日客の多い京都でも「リ・バウンド」現象が広がる。京都市東山区に昨年オープンした「サムライ剣舞シアター」。詩吟に合わせ刀や扇を使って舞う「剣舞」の鑑賞や体験ができる。「少しずつ日本人の体験客も増えてきた」。

表の鉤逢賀（まがり・おうが）さんは話す。

長い歴史を持つ剣舞だが、「流派や生徒も減少傾向が、

「以前は月に1組ほどだった」という日本人客も増えてきた。「外国人が関心を持つなら、子供も楽しめると思った」。向井秀太君

トレンドサーチ

向」。認知度を高めたいと訪日客向けにショーや剣舞体験を始めた。英語での指導が話題となり、年間3千人が訪れる。旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「外国人に人気の日本の観光スポット」のトップ10にも入った。

「旅慣れた訪日客の発信力が日本人を動かしている」。観光コンサルティングなどを手掛けるフォーティ&Cの水津陽子代表は指摘する。何度も訪れるリピーターも増えている。「彼らは買い物だけでなくもっと深い観光を求める」。新しい日本を発見し、発信したいという訪日客が増えるにつれ、日本人によるリ・バウンド現象も広がりそう

だ。（随時掲載）

剣舞など、日本再発見

（9）と晴太君（6）の兄弟を剣舞体験に連れてきた会社員の父親は話す。刀の扱いやお辞儀の仕方を学ぶ姿を見て「日本ならではの立ち居振る舞いはやはり魅力的」と評価する。

（9）と晴太君（6）の兄弟を剣舞体験に連れてきた会社員の父親は話す。刀の扱いやお辞儀の仕方を学ぶ姿を見て「日本ならではの立ち居振る舞いはやはり魅力的」と評価する。